



大谷地だより

Vol.82
 発行
北星学園大学同窓会
 札幌市厚別区大谷地西2-3-1
 TEL (011) 891-2731
 発行責任者 岡田 義明
 編集責任者 北星学園大学同窓会事務局
 印刷 岩橋印刷株式会社

同窓会定期総会のお知らせ

— 懇親会は開催中止いたします —

2020年10月17日(土)にニューオータニイン札幌で予定しておりました同窓会定期総会・懇親会は、新型コロナウイルス感染症拡大の現状を鑑み、定期総会のみ開催し、懇親会は中止することになりました。懇親会を楽しみにされていた方々には大変申し訳ございませんが、ご理解くださいますようお願いいたします。

なお、今後の感染拡大状況によっては、定期総会についても中止とする場合がございます。その際は速やかに出席予定の皆様にご連絡し、本学ホームページにもお知らせを掲載いたしますので何卒ご了承願います。

来年の定期総会・懇親会は、2021年10月16日(土)にホテルニューオータニイン札幌で開催予定です。一日でも早くこの感染拡大が収束し、一年後には同窓生の皆様と元気に再会できることを願っております。

2019年度(2019年10月~2020年9月)定期総会

- 日時:** 2020年10月17日(土) 14:00~15:00
- 場所:** 北星学園大学 C館 1階 50周年記念ホール
札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1 TEL: 011-891-2731 (代表)
- 議案:** (1) 2019年度活動報告(案) 及び収支決算(案)
(2) 2020年度活動計画(案) 及び会計予算(案) 他
- 申込方法:** ホームページの申込フォームまたはメールか電話にてお申込みください。
(今年は申込はがきは同封していません)
メールアドレス: dousoukai@hokusei.ac.jp
- 申込期限:** 10月5日(月)

※過去14日以内に「入国制限対象地域」に滞在歴のある方、発熱・咳などの症状がある方は参加をご遠慮ください。
 ※来学の際は、必ずマスクをご着用ください。
 ※感染予防のため、飲食の提供はいたしません。



Labor for the Present, Looking Forward the Future

北星学園大学同窓会長 岡田 義明



皆様には、日頃より同窓会活動にご協力をいただき有り難うございます。この度の新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、皆様の健康、安全を第一に考慮し、10月17日(土)に予定しておりました総会・懇親会は、総会のみ大学内で開催し、懇親会は中止とさせていただきます。親睦・交流のできない同窓会活動は、楽しみのないものですが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

感染症の脅威が過去のものになってはいない現実に直面すると、医学の進歩への安易な過信や根拠のない楽観に陥っていたことに気づかされます。収束には数年かかると言われ、役員として与えられた任期内には、同窓会の大きな目的の一つである親睦・交流は十分には実施できない可能性もありますが、新型コロナウイルスとの「共生」の中で、同窓会は何ができるのか、何をなすべきか、同窓会の在り方を問い直しております。

10月の総会に向け、大学から寄付の要請があった「学生の通信環境整備等支援について」に協力する件、国の「高等教育の修学支援新制度」実施に伴う「自宅外通学支援奨学金」予算の今後の取扱いに係る件等について、皆様にお諮りし、母校や後輩への支援を続けていきたいと考えております。現在、同窓会員は五万人を超え、毎年一千名余り増加、十年で一万人が増えます。学園は「中長期計画~グランドデザイン2020~2040」を定め、その達成に向け取り組み始めました。2040年には同窓会員は七万人になります。学園創設者サラ・C・スミスの言葉 Labor for the present, looking forward the future (将来を望んで努力せよ)を胸に刻み、現在の困難を忍び、大学と同窓会の将来に希望を繋ぎたいと思っております。

新企画プロジェクトからのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度予定していたコンサートや講演会は残念ながらすべて開催中止となりました。楽しみにされていた皆さまには大変申し訳ございませんが、ご理解くださいますようお願いいたします。

来年以降、イベント開催が可能となりましたらあらためてご案内いたしますので、その際はぜひ本学に足をお運びください。心よりお待ちしております。

大学社会福祉学部 主催 北星学園大学同窓会 後援

第二回社会福祉学部シンポジウム「コロナ危機と社会福祉の課題」のご案内

昨年10月13日(日)ホームカミングデーに併せて開催しましたシンポジウムでは、皆さまの多大なるご協力ご支援を賜り、本学名誉教授 忍博次先生にご登壇頂いたほか、本学内外から70名程度のご参加を頂き、ディスカッションを通じて研究と実務の交流を図ることができました。そこで、本年度は杉岡直人先生(本学名誉教授)にご登壇を頂き、卒業生の方々、現場でご活躍されている方々と本学教員らの知的交流を図る機会を設けたいと思います。時節柄、未だコロナ禍の趨勢が気になるころではありますが、このようなときこそ大学・学術の力が問われているという思いで、「コロナ危機と社会福祉の課題(仮)」をテーマとして実施します。多くの卒業生の皆さまのご参加を心待ちにしております。

■日時 2020年10月11日(日) 14:00~

◇基調講演 杉岡直人先生(本学名誉教授)



◇シンポジウム「コロナ危機と社会福祉の課題(仮)」

シンポジスト3名登壇予定

■実施方法

現在、大学にて「対面方式」で実施するか、あるいはインターネットを利用して「非対面方式」(Zoom等)で実施するかについて検討中です。決定致しましたら、お申込み頂いた方に対し、ご案内させていただきます。

■申込み方法

メール(entry-fukushi@hokusei.ac.jp)【受付担当 本学教員 林健太郎】あるいはFAX(011-896-7660)でお申し込み頂けます。その際、①氏名、②卒業年度、③現在の職業・所属、をご記載ください。

■申込み締切

2020年9月26日(土)

■問い合わせ先

上記メールアドレス、FAXあるいは電話(090-5428-9575 受付担当 林・直通)までお問い合わせください。
※講義その他により一度のお電話で出られない場合がございます。

2020年 大学・同窓会 行事予定

4月2日(休)	入学式	中止
27日(月)	前期授業開始(オンライン授業のみ)	
5月23日(土)	パイプオルガンコンサート	中止
6月5日(金)	体育祭(~6日)	中止
11日(休)	同窓会幹事会	7/27に延期
20日(土)	第1回オープンキャンパス	中止
8月1日(土)	第2回オープンキャンパス	中止
14日(金)	前期授業終了	
22日(土)	同窓会北見支部総会懇親会	中止
29日(土)	同窓会釧路支部総会懇親会	中止
30日(日)	同窓会帯広支部総会懇親会	中止
9月5日(土)	同窓会函館支部総会懇親会	中止
12日(土)	第3回オープンキャンパス(高3・既卒)	
13日(日)	第3回オープンキャンパス(高1・高2)	
14日(月)	後期授業開始	
15日(火)	「大谷地だより」第82号発行	
26日(土)	同窓会旭川支部総会懇親会	中止
	チャペルコンサート	中止

9月30日(火)	前期末卒業式	
10月8日(休)	同窓会幹事会	
9日(金)	大学祭(~11日)	中止
17日(土)	同窓会定期総会	懇親会は中止
11月7日(土)	同窓会東京支部総会懇親会	中止
12日(休)	同窓会幹事会	
12月5日(土)	同窓会千歳支部総会懇親会 総会17:30~、懇親会18:00~ レストラン西洋軒(千歳市千代田町1丁目1)	開催予定
12日(土)	クリスマスオペラコンサート	中止
23日(火)	クリスマス礼拝(大学チャペル) 年内授業最終日	
1月16日(土)	大学入学共通テスト(~17日)	
19日(火)	後期授業終了	
2月6日(土)	一般入学試験(~8日)	
3月12日(金)	卒業礼拝(大学チャペル)	
15日(月)	卒業式 「大谷地だより」第83号発行	

同窓会各支部連絡先

同窓会には各地に支部があります。ぜひ同窓会の活動にご参加ください。

- 旭川支部(1983年発足)**
支部長 西岡 将晴 090-7648-1997
kembuchi2000@yahoo.co.jp
- 帯広支部(1985年発足)**
支部長 成田 啓介 0155-56-4706 (特養札内寮)
mansei@cameo.plala.or.jp
- 北見支部(1987年発足)**
支部長 三浦 鶏一
連絡先は総務 関口篤司まで 090-8909-3316
atsushi.sekiguchi@city.kitami.lg.jp
- 東京支部(1988年発足)**
支部長 遠田 嘉憲 04-2949-6726
ysr-enda@tbz.t-com.ne.jp
- 函館支部(1988年発足)**
支部長 畑中 博史 0138-46-2537
hiro-121@sea.ncv.ne.jp
- 釧路支部(1989年発足)**
支部長 角 隆史 0154-65-9812
kaku4744@msn.com
- 千歳支部(1996年発足)**
支部長 千葉 英二 0123-24-5564
hirom78cosmos@docomo.ne.jp

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前期はオンライン授業中心にスタートしました！

在学生全員に通信環境整備等支援金を給付

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、4月の入学式は中止とし、前期は5月からオンライン授業が始まりました。また、7月中旬からは、実習・実験科目や研究・論文指導、少人数（最大30名程度）で実施される演習（ゼミナール）などの一部の対面授業も始まりました。なお、登校を希望しない学生に配慮し、非対面（オンラインなど）授業を併用して実施しています。

このような中、全学生が遠隔授業を自宅でもスムーズに受講できるよう、パソコンやインターネット環境の整備のために、**学生1人当たり**

一律50,000円を給付することを決めました。（2020年度1年間休学する者は除く）

オンライン授業中心のため、キャンパス内は学生がほとんどいなく寂しいですが、学生や教職員の命と健康を守るために様々な感染防止対策を継続して行っていく予定です。

一日でも早くこの感染症が収束し、学生たちのにぎやかな声が飛び交うキャンパスに戻ることを心より願っています。



C館入口：受付を設け、来学した学生は学生証を提示し、来学記録を残しています。手指消毒やマスク着用の徹底も行っています。



安部先生とゼミの学生たち：C館1階にて（写真を撮る時だけ、近づいてもらいました。）



大学生協の食堂：間隔を空けて席に座るようにテーブルや椅子にサインを設置しました。



オンライン授業を大学内のCALL教室等で授業を受ける学生。



研究室からオンラインで授業配信。約70名の学生が出席しました。



短大部のアセンブリの授業。複数の教員が協力し、大学の教室から配信しました。



7月から一部対面授業が始まりました。フィールド実習の様子。



対面でのゼミ授業：窓を開け、机の間隔を取っています。



就職支援課でのオンライン面接の様子：必要な設備を学内に整えました。

同窓会寄贈図書が展示されました！



同窓会から在学生への還元事業として図書館への図書寄贈を毎年行っています。

今年はホームページにて告知を行った結果、複数の学生からリクエストがありました。この他にも司書課職員の協力のもと、在学生が親しみやすい図書やDVDを選定しました。



図書館カウンター：飛沫感染予防のためビニールシートを付けています

北星学園大学図書館は、現在はコロナ禍のため学生・教職員以外の利用はできませんが、通常は地域の方や高校生にも解放しています。同窓生の皆様も新型コロナウイルス感染症が収束した折にはぜひご利用ください。ご利用手続きには身分証明書と写真が必要です。詳しい利用方法や開館日程については、[本学図書館ホームページ](#)をご確認ください。



■今年度の寄贈図書一覧（図書47冊、DVD38枚を寄贈。その一部を掲載。）

書名	著者名
凜凛チャップリン	伊藤千尋著
永遠の日本：白川義員作品集【本編】	白川義員著
天地創造：白川義員作品集【本体】	白川義員著
踏み跡にたざんで	小野正嗣著
なんで僕に聞くんだろう。	幡野広志著
遠の眠りの	谷崎由依著
生きながら十代に葬られ	小林エリコ著
楡の墓	浮穴みみ著
色のない虹：石牟礼道子＜句・画＞集	石牟礼道子著
抵抗都市 = RESISTANCE CITY	佐々木譲著
有翼女神伝説の謎：蝦夷地に眠る古代シュメルの遺宝	荒巻義雄著
風のごとば空のごとば：語りかける辞典	長田弘詩；いせひでこ絵
逆ソクラテス	伊坂幸太郎著
幼な子の聖戦	木村友祐著
社会と精神のゆらぎから	野田正彰著
社会とことば（井上ひさし発掘エッセイ・セレクション）	井上ひさし著
十重大事故から読み解く山岳遭難の傷痕	羽根田治著

書名	著者名
暗い林を抜けて	黒川創著
ウミガメみたいに飛んでみな	木村椅子著
童謡名曲事典	長田暁二著
北海道の機魚たちのグレートジャーニー（北水ブックス）	宗原弘幸著
失われた旅を求めて	蔵前仁一著
映画『ピース・ニッポン』：Blu-ray DVD	
北のカナリアたち DVD	
北の零年 DVD	
ボルグ / マッケンロー 氷の男と炎の男 [Blu-ray] DVD	
8 Mile [Blu-ray] DVD	
アイ・アム・レジェンド [Blu-ray] DVD	
泣くな赤鬼 [Blu-ray] DVD	
ジャスティス・リーグ [WB COLLECTION] [Blu-ray] DVD	
カプリコン・1「特別版」 [Blu-ray] DVD	
リーグ・オブ・レジェンド / 時空を超えた闘い [DVD] DVD	
ジョーカー ブルーレイ & DVD セット	
「天気の子」 Blu-ray スタンダード・エディション DVD	

5名の同窓会奨励生が決定しました。



「学内外で様々な活躍をし、同窓会活動に積極的に参加できる学生」を条件とし、今年も同窓会奨励生を募集いたしました。提出された自己推薦文を基に審査を行い、今年度は5名の採用を決定しました。

コロナ禍のため、例年7月に開催している「奨励金授与式と奨励生の集い」は、後期の対面授業がスタートするまで延期となりましたが、選ばれた5名の学生たちが、同窓会奨励生として今できる活動や学習に励んでほしいと願っています。収束した折には、奨励生のみならずと交流する機会を持ち、同窓会活動と一緒に盛り上げていけたらと思っています。

「～だから」と言わないこと

社会福祉学部 福祉臨床学科 4年 谷村好美



2018年度後期インターナショナルカフェの様子 (左が谷村さん)

この度は同窓会奨励生に採用頂けたことを大変嬉しく、光栄なことと思っております。約3年前に入学したときは「教師になる」の一心でしたが、大学での様々な経験から「海外留学」を夢見るようになりました。しかし、それが夢で終わっていたのは「～だから」という言葉でした。私の所属している福祉臨床学科には海外留学をする学生がほとんどおらず、教職課程を履修していると、実習や履修科目の関係から留学が容易ではありません。

そのため「教職だから」「社会福祉学部だから」という言葉で、自分の夢を潰していたのかもしれない。派遣留学が決まった今、様々な先生や事務の方にも相談し、苦労しながらも留学という夢に一步近づくことができました。私は同窓会奨励生としての活動を通して、自分の夢のために動く少しの勇気さえあれば、所属や専攻は関係ないということを伝えていきたいです。最後に、今回の応募にあたって背中を押してくれた友人、事務の方、そしていつも応援してくださった先生方にこの場を借りて感謝の気持ちをお伝えいたします。ありがとうございました。

同窓会奨励生として

短期大学部 生活創造学科 2年 市村桃華



アルバイト頑張っています

同窓会奨励生として今回選んでいただき、とても感謝しております。奨励生としての自覚と責任を持ち、短大の学びをしっかり行い、多くのことを身につけて卒業したいと考えています。また、卒業後も同窓会活動に積極的に参加し、同窓生の方と思い出を共有し親睦を深めたいと思います。同窓会ならではの職場や世代を超えての交流や出会いの中で、色々な考え方に触れ、視野を広げていきたいです。そこから、自分の将来に対する見方や価値観も変わってくると考えます。そして、この同窓会奨励生制度についても、学業に励むことのできる制度としてより多くの学生に知ってほしいと願っています。

現在は福祉の問題について日々勉強しており、特に現代女性の妊娠や男女格差について学んでおります。就職も決まり、今は卒業論文に取り組みながら、学費を稼ぐために週5日ほど焼肉屋さんでアルバイトをしておりますので、奨励金は学費に充てたいと思っております。

私を産み育ててくれた家族、今まで支えてくれた周りの方々、今も支えて下さっている先生方に改めて感謝いたします。北星短大で過ごすことができよかったという自信をもって社会に羽ばたけるよう、残りの学生生活を大事に過ごす所存です。

同総会奨励生として

文学部 英文学科 3年 櫻田優花



カンボジアでのボランティア活動の様子 (左が櫻田さん)

この度は、同窓会奨励生に採用していただき誠にありがとうございます。奨励生としての自覚と責任を持ち、今後の同総会活動に積極的に活動していきたいと思っております。

私は、春休みの期間を利用し、カンボジアへ日本語学校の教師アシスタントとしてボランティア活動をしてきました。発展途上国という今後の発展に期待できる魅力的な面を見つ、貧困問題や教育格差、衛生問題など日本では考えることのできない多くの衝撃的な面も目の当たりにしました。しかし、発展途上国だからといって幸せではないということではありません。多くの親切な人々と素敵な笑顔で溢れた素晴らしい国であり、私自身も大きく成長することが出来ました。

現在コロナウイルスにより、海外へ簡単に訪れることができない状況が続いておりますが、収束後は、また発展途上国へ訪れ支援活動をしていきたいと考えております。今後も国を超えた多くの人々と関われるよう、英文学科での学びを無駄にせず精進していきたいです。

奨励生としてやりたいこと

経済学部 経営情報学科 3年 ラトール斗士治



世界ジャンボリーでの海外のボーイスカウトとの交流

この度は、同窓会奨励生に選考していただき、誠にありがとうございます。奨励生という立場に自覚と責任を持ち、自分にできることを精一杯やらせていただきたいと思っております。私は16年間ボーイスカウト活動に参加しており、キャンプや奉仕活動を行ってきました。その中でも特に印象に残っているのが二度参加した世界ジャンボリーです。これは世界中から約5万人のボーイスカウトが集まり約2週間のキャンプ生活を共にする大会で、つたない英語を使いながらも海外の仲間と交流する楽しさを知ることができました。私は学内でEASCOMとHOKUSESSに所属し、留学生との交流プログラムを企画・運営しています。今後は、本学の同窓会が私たち学生にどのような支援をして下さっているのかについて、留学生にも伝える活動をしていきたいです。

同窓会奨励生として

社会福祉学部 福祉心理学科 2年 渡部真侑



将来の夢に向かって勉学に励んでいます

この度は、同窓会奨励生に採用していただき誠にありがとうございます。奨励生としての自覚を常に持ち、自分の役目を果たしたいと思っております。同窓会懇親会などのイベントに積極的に参加することは勿論、本学の同窓会が私たちが在学のために支援してくださっていることを理解し、それを広めるのと同時に北星学園大学の魅力も広めていきたいと考えています。同窓会活動に参加した際には、人との関わりを大切にコミュニケーションをたくさんとりたいです。また、様々な年代の方との交流を深め、多くの知識を身に付け、将来に活かしたいです。

奨励金はとても貴重なものだと考えていますので、学費として使わせていただきたいと考えています。北星学園に入学をして早くも2年が経ちましたが、残りの2年間は奨励生として精一杯努め、心理カウンセラーを目指すための勉学ともしっかり向き合っていきたいです。



同窓生の紹介

中村 千津子さん
(1987.3 女子短期大学家政科卒)
(1989.3 文学部社会福祉学科卒)

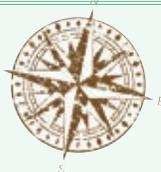
Shine like stars in a dark world (暗い世にあって星のように輝く)

35年前、出会った言葉です。それはライラック薫る煉瓦塀の校舎で、家政学を学んでいた時です。「私も光り輝くことができるのだ」と、ハッと気付かされました。そして私の興味が、外の世界へグンッと広がりました。サラ・C・スミス先生の言葉は、今の私の土台となっています。現在、私は絵本のよみかたりをしています。その活動は、約25年間、国内外に及びます。そして2016年から、大学後援会の副会長を楽しくさせて頂いております。2020年5月、大学生時代からの夢だった絵本を出版しました。「冒険うたえほん 北の風、命の海 (いしだえほん)」。これらは全て、やりたいことをやってきた私、なりた自分をめざし、努力してきた私の結果です。すなわち「星のように輝く」とは、やりたいことをやり、なりた自分をめざし努力すること。そう思って、私は生きています。これまでも、これからも。



中村さんが出版した絵本

世紀の転換期を乗り越える 底力をつける



学長 大坊 郁夫



新型コロナウイルス禍は、日常の安心が如何に脆いものであり、「当たり前」が当たり前でないことを人々に思い知らせるに十分な未曾有の生活変革をもたらしました。地下鉄に乗ること、人と会話をするのがこんなに危険なことなのか、そして、毎年恒例の行事が数多くの安心できる前提から成り立っていたことに気づいたはずで

既にご承知のように、本学でも、卒業式、入学式を実施できませんでした。卒業生もなにか中途半端な気持ちで本学を離れたと思うと切なさが募ります。新入生は4月早々に登録のために数日間は大学に来たものの、その後は長い自宅待機、そして遠隔授業となりました。授業は前期末まではこの形態です(7月下旬ごく一部のゼミは対面授業としました)。

この間、教職員は日頃の所属部署を超えて、授業展開の支援チームを作り、SNSなどを多用した情報発信を試みております。学習支援、心の支え、経済的な支援についても工夫をしています。先ず行いましたことは、教育の質を保つためにも、学生の通信環境整備のための支援です。通信環境が十分でなければ、授業自体が成り立ちません。大学運営の経費の見直し・節約、教職員や後援会、同窓会からの寄付金によってまかなう予定です。

この遠隔授業は教職員、学生にとっても試行錯誤の連続で、開始当初は双方から不安の声が多く寄せられました。しかし、今では、「授業に集中できる、周りを気にせずに質問できる、通学の時間がかからないので時間を有効に使える(学生から)」、「学生の集中度が高く理解がよい、課題の出来がよい(教員から)」などの評価があります。もちろん、教室での対面による一体感や臨場感(授業の話しぶりへの反応一ざわつきなど)が分からないのが残念などの意見もあります。実習や実験、実技などについては、授業の相当の工夫や対面の機会のやりくりも必要で、後期は状況を考えながら対面授業を拡大します。

皆様の後輩である在学生には、この世界的な危機を貴重な体験の機会と捉え、可能な学びを追究して欲しいと願い、教職員一同は最大限の努力をいたしてまいります。

同窓会の皆様自身もコロナ禍による影響があると思いますが、学生の学びが損なわれないようにぜひお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

北星学園大学サポーターズ 寄付金募集についてのお願い

北星学園大学および北星学園大学短期大学部は、財政基盤の充実・強化を図り、教育研究、学生支援、社会貢献等に係る各種事業をさらに発展させることを目的に「北星学園大学サポーターズ寄付金」を募集いたします。

この寄付金は、寄付者自らの思いを直接活かせるよう、ご寄付の用途先をお選びいただけます。

募集要項

募集期間：2020年4月～2021年3月

寄付金額：1口1万円

(何口でも喜んでお受けいたします)

※本寄付金は任意です

ご寄付に関する税控除について

個人

所得税及び住民税の控除の対象となります。
※住民税については各市町村の条例で指定されている場合に寄付金税額控除の対象となります。

法人・団体

特定公益増進法人に対する寄付金または受配者指定寄付金として、お申込みいただけます。

これらは、ともに税の優遇措置が認められています。

※詳細はホームページにてご確認ください。

ご寄付の用途先

①通信環境整備等支援金給付事業

本学では新型コロナウイルス感染症の影響により、原則、前期の授業を遠隔授業といたしました。そこで、学生の通信環境整備等にかかる経費負担を少しでも軽減するための緊急支援として本学学部生及び短期大学部生全員を対象に、一人当たり一律50,000円を給付することといたしました。

賜りました寄付金は、学生への緊急支援「通信環境整備等支援金」の給付事業の財源として用いさせていただきます。



学内でオンライン授業の課題に取り組む学生たち

②教育研究サポート

本学が教育研究活動において必要とする分野に活用させていただきます。最近では、北星ピア・サポーターや「学び」のためのプロジェクト等、学生主体の様々な活動が盛んに行われております。

ご厚志への感謝



■ご芳名の掲載

ご支援を賜りました皆さまへ御礼の意を込めて、ご芳名を北星学園広報やホームページ等に掲載させていただきます。(ご希望されない方は寄付申込書等でお知らせください)

■クリスマスカードの送付

ご寄付をいただいた皆さま全員にお送りさせていただきます。(12月にご寄付をいただいた場合は、翌年の12月にお送りさせていただきます)



■北星学園大学オリジナルグッズの贈呈

5口以上のご寄付をいただいた皆さまに、北星学園大学オリジナルグッズをお贈りいたします。オリジナルグッズは右記の2種類からお選びいただけます。*クッキーについては、12月頃の発送を予定しております。



■お申込み・お振込み方法

①インターネット利用(クレジットカード決済)

本学のホームページまたは右記のQRコードから寄付のサイトに接続できます。
(スマートフォンからもお申込み可能)
<http://www.hokusei.ac.jp/donation/>



②北星学園募金事務局(北星学園大学財務課)に

お電話またはメールにてお問い合わせください。寄付申込書と寄付払込票をお送りいたします。

③大学窓口利用(平日9:00～17:00)

募金事務局(大学財務課)へ直接ご持参ください。

■お問い合わせ先

北星学園募金事務局
(北星学園大学財務課)
〒004-8631
札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
TEL:011-891-2731
FAX:011-892-6097
Email: donation@hokusei.ac.jp
HP: <http://www.hokusei.ac.jp/donation/>

<住所変更届をお忘れなく！>

会員の皆様や同窓生のご友人・ご家族で住所が変わった方は同窓会事務局までご一報ください。本学ホームページの住所変更フォーム、メール・FAX・はがき・電話にて受け付けておりますのでご協力をお願いします。個人情報情報は同窓会活動以外には使用いたしません。

北星学園大学同窓会事務局

(社会連携課内)
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1
TEL:011-891-2731 FAX:011-896-8311
E-mail: dousoukai@hokusei.ac.jp



暑かった夏も終わり、涼しい風が吹く季節となりました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、同窓会の様々な行事が開催できない状況です。在学生たちもオンライン授業がメインとなり、生の姿が見えない大谷地キャンパスは、ひとりで過ごしています。一刻も早く収束し、学生たちの大学生活や同窓会活動が通常に戻ることをご心より願っております。同窓生の皆様も十分お気を付けてお過ごしください。
(同窓会事務局 西藤)

編集後記



■寄付者ご芳名一覧(2020年4月～2020年7月)

寺岡 宏	木村 哲晃	南 計之	萱野 智篤	木村 尚	古川 敬康
樋田 繁治郎	木村 美奈	野田 ひさし	湊 史郎	西田 充潔	五味田 泰
古賀 清敬	笠松 英雄	高木 行子	修 震傑	中田 龍三郎	今城 慰作
上西 哲雄	川部 大輔	岡田 勝	増田 好純	眞嶋 良全	酒井 玲子
佐藤 修子	河原 歳也	大畑 揮義	鳴海 昌江	島田 桂子	秋山 康文
秋田谷 英次	高野 照司	廣瀬 慶治	田邊 等	光増 昌久	上村 綾
鈴木 克知	中村 浩	永井 信夫	ロバートJ.	萩原 浩太	谷 映子
朝倉 美恵子	竹内 禎哉	大坊 郁夫	トムソン	和田 美江	竹野内 真樹
吉田 美智子	藪内 豊	塩崎 和憲	ヘイディE.	黄 雅雯	中手 日子
羽毛田 常治	片岡 徹	池田 淳志	トムソン	高野 和美	長谷川 典子
山本 敏子	山本 一博	石丸 オリエ	白鳥 金吾	大友 秀治	堤 政彰
山口 コリ	山本 慶子	土居 隆弘	横山 穰	大島 寿美子	渡辺 誠二
高橋 章	幸松 紘史	大野 尚子	コッター・マシュー	斎藤 彩世	北城 泰典
越江 真理	桑原 大幸	高儀 照夫	ジェイムス	竹内 康二	北星学園大学
竹島 浩一	山口 博教	矢三 隆司	田中 耕一郎	藤木 晶子	同窓会帯広支部
大原 昌明	河野 和枝	根本 博光	永井 順子	鈴木 弘子	矢吹 哲夫
小村 知江子	田美 潔	遠田 嘉憲	野原 克仁	ゲッツトーマス	鈴木 克典
山西 爾	坂内 正	荒木 逞	山本 慎平	ジェームズ・E.	眞鍋 武
山井 理恵	遠藤 太郎	志水 浩樹	安部 雅仁	アリソン	
田中 正博	内山 智	北川 幸江	中地 美枝	岡田 義明	匿名希望 85名
谷 さつき	田名部 正彦	秋本 修	中村 和彦	岡部 洋貴	
川島 善孝	山本 範子	鹿熊 裕志	西原 明希	加来 秀一	
今 康昭	藤原 里佐	幸坂 敬徳	加賀谷 薫	河村 一	
鈴木 峰子	篠田 優	川原 靖彦	金子 大輔	吉荒 龍哉	
伊藤 新一郎	後藤 靖宏	佐藤 剛	伊藤 蘭	宮下 稔	
中屋 晃	前村 俊一郎	木澤 賢人	本間 明夫	駒ヶ嶺 剛史	

※ご芳名の掲載は、本学へ入金された日を集計しております。(インターネットからクレジット決済でご寄付をされた場合、本学への入金を確認されるまで通常1～2か月程度を要します)

■各種事業別内訳(単位:円)

内 訳	件数	金 額
学園全体の教育の充実	8	356,029
通信環境整備等支援金	208	13,550,000
教育研究サポート	7	260,000
ボランティア活動サポート	1	10,000
キャンパス設備サポート	3	70,000
奨学サポート	11	1,224,000
社会貢献・地域連携サポート	1	10,000
国際サポート	2	20,000
スポーツ・文化活動サポート	2	110,000
計	243	15,610,029

■寄付者区分別内訳(単位:円)

区 分	件数	金 額
在学生父母	29	2,030,000
同窓生	33	865,000
役員	5	996,029
教職員・旧教職員	166	11,323,000
一般・団体	10	396,000
計	243	15,610,029